

平成30年度第1回大阪府都市計画審議会常務委員会部会《要旨》

- 日 時 平成30年5月28日（月） 15：00～17：00
- 場 所 大阪府庁別館7階都市計画室分室
- 議 事 (1)最終報告（素案）について
- 出席委員 加我部会長、赤澤部会員、井原部会員
- 事務局 都市整備部都市計画室公園課長 ほか

- 議 事

議事（1）

<資料1事務局説明>

全体について

加我部会長

この報告書は、地域住民や民間事業者、他部局などに対する営業ツールとして、使えるような、まとめ方をすべき。

なお、審議会のように、委員意見を一言一句反映させるものではなく、府営公園の魅力向上のためにどうかを見ていくべきもの。事務局が使えるものを選択してもらったらい。

井原部会員

「3.府営公園を取り巻く環境の変化」では、背景が多くマイナスなイメージを持たれる可能性があり、構成は「4.府営公園の現状と課題」と「3.府営公園を取り巻く環境の変化」を入れ替えた方がいい。

加我部会長

基本理念や目標像が20～30年後も変わらないのであれば、元の位置だろう。

「3.府営公園を取り巻く環境の変化」と「4.府営公園の現状と課題」は入れ替えて、再度議論すべき

事務局

基本理念や目標像については、時代ニーズの変化に影響を受けない普遍的なものとして考えている。

赤澤部会員

課題が淡々と述べられており、「だから、〇〇が求められている」「△△をしたい」「□□ができる」など書き方を変えてみるのもいいだろう。

はじめに

加我部会長

「みどりの大阪推進計画」は広域緑地計画として書かれたものであり、「緑の基本計画」は削除すべき。

「社会情勢の変化や上位計画を踏まえると、公園をマネジメントする大きな方針の策定が必要になっている」を追記すべき。

井原部会員

用語の統一化を図るため、1段落目の都市公園は都市計画公園に修正すべき。公園の期待値をアピールするため、「都市まちづくりに貢献する期待値がより大きくなっている。」を追記すべき。

老朽化の進行や予算の削減など、ネガティブな表現は先に書いて、「そのような中でも、こんなことが求められている、ニーズがある」と前向きな表現で書くべき。

PR力に欠けるので、言いたいことだけを、簡潔に。あまり必要のないことは思い切って削除すべき。

赤澤部会員

「課題はあるものの、新しい投資の仕方やマネジメントの仕方、展望・可能性について、公園に求められていることが非常に大きい」を追記すべき。

1. 府営公園の意義

加我部会長

みどりの大阪推進計画において、「道路とは異なり、3つの資本（ハード・ソフト・自然）を持つのは都市基盤の中で公園だけであるからこそ、みどりの拠点になり得る。」旨の表現を追記すべき。

3. 府営公園を取り巻く環境の変化～4. 府営公園の現状と課題

赤澤部会員

「グローバル化の進行」が記載されているが、「一方でローカルな企業による魅力向上の取組みが増えていること」を併せて記載すべき。

「予算・人材がない」ことが記載されているが「他部局との連携や国の枠組みの活用など、マネジメント次第で対応できる」旨を追記した方がいい。

メンテナンスにより長持ちさせることだけでなく、リノベーションやみどりの魅力向上など社会ストックの活用として、公園のできることを記載すべき。

加我部会長

「人口減少、少子高齢化がある一方で、健康・レクリエーション需要がある」と記載してはどうか？

予算減少を表すグラフは、公園だけでなく道路・河川など都市整備部全体の事業費が落ちていることを記載すべき。

井原部会員

「こういう社会情勢を受けて、～」などのまとめや考え方を記載すべき。また、「樹木点検はしているものの、樹林地での過密化や遷移が進んでいる」などの、根本的な課題について記載すべき。

5. 基本方針

加我部会長

P41、49、50の各模式図とも、一目で表すことができず、どれもが複雑になっているイメージ。もっとシンプルにした方がいい。

P49の図では、「公園の本来機能の充実」など、これまでにでてこなかったワードがあり、唐突感があるため、これらの説明を入れた方がいい。取組方策ではなく、基本方針を記載すべき。

赤澤部会員

P41、P49を一緒にしたほうがいい。行政の役割として、下支えする基本方針⑦と基本方針①で他をサンドする形。基本方針①のマネジメントプランの策定について、特色と策定と2つの意味があるので、P41とP49では基本方針①の位置付けが変わっている。

井原部会員

P41は目標像との関係性で、P49は基本方針間の関係性で分けたままでいいのかもしれない。

基本方針①公園毎の特色を活かし育み、“都市の顔”となる公園づくりを推進

赤澤部会員

マネジメントプランの策定については、特色と策定で分けるべき。基本方針①には特色を活かすこと、基本方針⑦には仕組みづくりについて記載する。

基本方針③公園を柔軟に使いこなし、地域社会に貢献する公園づくりを推進

赤澤部会員

「ニーズの変化に対応できる制度の導入」については、基本方針⑦に記載した方がいい。

基本方針④府民の命を守る公園づくりを推進

加我部会員

一番予算がとれる防災公園の整備なのに、書きぶりが薄い。取組みを追加すべき。

基本方針⑤誰もが安全・安心・快適に利用できる公園づくりを推進

井原部会員

基本方針⑤は人中心の記載で、基本方針⑥は生きもの中心の記載のため、「人や生物にとって」を削除すべき。

基本方針⑥多様な自然とふれあい、都市の環境を保全する公園づくりを推進

加我部会長

フィールドアスレチックは「ぎらぎら感」があるので、削除すべき。

「自然の重要性の発信」→「公園の自然を積極的に守る」→「府民が多様な自然とふれあう機会を創出する」の流れで順番を変更する。

基本方針⑦都市まちづくりを先導し続ける戦略的に整備・管理・運営の仕組みづくり

加我部会長

スキルアップの記載は、社会福祉や教育などの異分野にまで公園職員が受け持つことになるため、修正すべき。

赤澤部会員

造園だけでなく、異分野の職が共存するパークアンドレクリエーション課の設置について、記載すべき。

他の方針から来る項目が多い。もう少し整理して、①ポリシー（公園審議会やマネジメントプラン）②実現するための組織・財源③仕組みの3つに分けたらどうか。

事務局

一つの課を設けるのは困難なため、庁内連絡会などの運用で対応したい。

井原部会員

「質の高いみどり空間の創出・保全を図るため、造園以外の専門家と連携するとともに、研修や講習会などでスキルアップを図るべき。」と記載してはどうか。

配置図イメージ

加我部会長

公園面積が拡大するわけではないので、大きさを変えず、波及効果を示すべき。

赤澤部会員

多様性の発揮とマネジメントがポイントとなるため、現状では似たようなグラデーションとし、将来ではもう少しはっきりした色にすればいいと思う。波及していくイメージ。

井原部会員

現状では同じ色で明度を変え、将来は大きさを変えずにカラフルにする。波及効果は両矢印を3か所ぐらい設けたらよい。

加我部会長

本日いただいた意見を踏まえ、修正いただき、次回部会にて最終報告案を検討する。これで第1回常務委員会部会を終了する。